

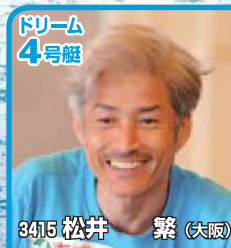


地元SGタイトルは獲るべきもの。
ドリーム6号艇・平本 真之 (愛知) インタビュー

マンスリー
BOAT RACE

2021 SG 特集号
8
企画・制作 株式会社イー・アンド・イー
〒500-8431 京都市下京区船場通西入る
クラブビル4F 201号
TEL.075-353-1721
FAX.075-353-1731

ナイター 夜でも熱い!! 蒲郡メモリアル



67th ボートレース メモリアル

BOAT RACE MEMORIAL

8/24 TUE 25 WED 26 THU 27 FRI 28 SAT 29 SUN

開門予定 13:00
第1レース・スタート展示 14:00

場外発売 全国のボートレース場およびチケットショップで場外発売

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、「SG第67回ボートレースメモリアル」開催期間中の蒲郡本場への入場は、事前抽選により当選された方およびその同伴者の方のみとさせていただきますのでご了承ください。事前申込は終了しております



🌙 ナイター開催

CS中継
全日程
JLC
680



SG第67回
ボートレースメモリアル
電話投票・前日発売実施!

●対象者
インターネット即時投票会員
●発売予定時間
翌日の出走表公表後〜23:00



BOAT RACE 蒲郡



電話投票
レース場コード
07#

●電話投票は朝7時から発売します。
●未成年者は舟券を購入できません。
●無理のない資金で、余裕を持って楽しんでください。



メモリアル開催中の期間、YouTubeにてライブ配信予定！

配信時間：第1Rスタート展示10分前（13時50分頃）～第12R終了後

※日程・内容は変更となる場合がございます。

8/24 TUE 夫婦漫才



出演：木村魚拓／七瀬静香／ウシオ
JANBARI TV

8/25 WED ミニボロイ



出演：神谷玲子／倅田祐希／ヒラヤマン
JANBARI TV NEXT

8/26 THU りんごChan



出演：二階堂瑠美／二階堂亜樹／永島知洋

8/27 FRI 新藤原!!



出演：ジロウ／松本バッチ／まりも
JANBARI TV

8/28&29 SAT SUN



出演：イチー／くり／マリブ鈴木／ジャスティン翔

8/28配信 8/29配信

DMM 証券

8/24～29 TUE SUN

白熱ナイター 蒲郡ステーション



全日程&全レース
LIVE配信!!

出演：岡本 瑠偉／月島 満里子／児玉 祐莉乃／後藤 芹七／青木 夏美／西川 熊二郎

視聴者プレゼント
企画も実施!!

出演者サイン入り
グッズプレゼント!
詳しくは各番組の概要欄にて



67th ボートレースメモリアル BOAT RACE MEMORIAL

電話投票キャンペーン

Wメモリアル
キャンペーン

勝ガマ会員限定

勝ガマメモリアル キャッシュバック

総額 1,140万円 合計 2,830名に
キャッシュバック!



トランプ
プレゼント!

LINE勝ガマ連携会員対象

メモリアル QUOカードGETキャンペーン

オリジナル
QUOカードセットを 2,200名に
プレゼント!



※QUOカードのデザインはイメージ画像と異なる場合がございます。

開催期間 8/24(火)～8/29(日)

詳細は <https://gama-win.com/>

勝ガマ

検索



抽選で
20名様に

ボートレース蒲郡 SG第67回ボートレースメモリアル オリジナルクオカードをプレゼント!

応募方法

- ① ホームページ マンスリーBOAT RACEホームページ内にある応募フォームに必要事項を記載のうえで応募ください。 マンスリーBOAT RACEホームページ <https://m-kyotei.jp/>
- ② 郵便ハガキ ハガキに、「メモリアル・クオカ希望」と記載のうえ、応募者の①郵便番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥本誌を入手したボートレース場・チケットショップ名（定期購読を申し込んでおられる方は「定期」）を明記して、右記の宛先までお送りください。

宛先 〒600-8431 京都市下京区綾小路室町西入ル グランドビル21 201号 マンスリー「メモリアル特集号」プレゼント係

締切 2021年8月30日(必着) ●発送をもって発表にかえます。

●ご応募いただいた方の個人情報につきましては、当プレゼント以外には一切使用いたしません。また、応募ハガキは、プレゼント発送後に責任をもって処分いたします。



「地元のSGタイトルは獲るべきもの。メモリアルで地元

昨年、平和島グランプリで初のベスト6入りを果たした。SG2冠ながら今までは「チャレンジャー」だったが、今年は「迎え撃つ立場」としての責任感が芽生え、初めて「絶対に勝つ」と意気込んで臨んだ蒲郡周年で優勝。狙って獲れたことが大きな自信になり、これまでとはひと味違う姿を見せてくれるはず。「獲るべきは地元SG」と強い気持ちで臨む今大会は、平本を中心に動く！

年末のグランプリ出場へ 気持ちを強く持つ走る

—— コロナ禍で変わったことはありますか？

平本 ありがたいことに、仕事に関しては何も変わっていません。業界的には売上が伸びて、「ボートレース」が注目されているのは感じています。

それに、僕のSNSでも新規のファンが増えています。1号艇で負けたりした時は、メッセージが結構来て…（苦笑）。ネガティブな性格なので落ち込みます。

でも、それは期待値の高さだと思います。気にならない程度の選手なら送ってこないと思うので。ポジティブにとらえられるように変換しています。

—— 昨年、初のグランプリ優出を果たしました。

平本 やっぱり、あの舞台に立つと気持ちの部分で変わります。毎年グランプリには行きたいし、行かないといけないと思っていたけど、その想いがさらに強くなりました。

今年は全部のSGの優先出場権があるので、今まで以上に気を引き締めて臨みたい。責任感ではないけど、常に気持ちを強く持って走りたいです。

—— では、気持ちも調子も上がっている？

平本 それが、あまり良い状態ではないんですよね。正直に言って、自分が思っているような結果が出ていません。一般戦でも勝ち切れないことが多い。6月の蒲郡周年を勝つことができたので、「これで弾みがつく！」と思ったけど…。その後の児島グラチャンと丸亀甲子園は全くダメだった。エンジンを出し切れなくてボ

ロボロの状態です。

毎年のことではあるけど、プロペラの調整が全くわかっていないですね。これまで夏場の調整のほうが得意だと思っていたけど、結果が伴っていない。良いエンジンなら出てくれるけど、悪いエンジンだと何をやっても反応が出てくれない。昔はプロペラ調整で何とかなることもあったけど、今はエンジン次第の感があります。調整は永遠の課題です。

展示タイムよりも 1周タイムを参考にしている

—— 平本選手は体感重視の印象がありますが。

平本 そうですね。基本的には、乗り心地を含めた体感を求めるようにしています。でも結果が出ている時は、直線の足がついてきている時なんですよ。乗り心地は無理やり乗れる程度にするくらい。



なので、今までの考え方を考えて行こうかなと思っています。蒲郡周年ではいつもと逆の調整を試してみたら、結果がついてきてくれました。今年の夏はこれで行けるかなと思ったけど、やっぱりそういうわけでもなかった。本当に難しさを感じています。

—— 客観的に見て、「平本真之」とは？

平本 どちらかと言えば、駆け引きで勝負するタイプだと思います。レースのシミュレーションをすることもあるし、自分の思い通りになってくれて、それで勝つことができれば嬉しい。展開がハマった時の気持ち良さは醍醐味です。最近1周タイムとかオリジナル展示を公表

するレース場が増えてきました。従来の展示タイムよりも、1周タイムを参考にしています。1周タイムが人並みか悪い時は、エンジンも良くないことが多いので、狙って欲しくないかな（苦笑）。逆に1周タイムが抜けている時は、仕上がりにも自信を持っている証拠です。テンションも上がります。

あとは気分的な部分にも左右されるかな。結果が良い、悪いはあまり関係なくて、自分が納得の行くレースができていのかどうか重要です。良いレースができた時は、家に帰ってリプレイを見たりするけど、最近はリプレイを見る気にもなれないレースが多い。思い通りにエンジンを仕上げ切れていなくて、思い通りのレースができていない。4月の宮島DCは準優1号艇で負けてしまったし、常滑GW戦でも優勝戦1号艇で飛んでしまって…。好不調に関係なく、勝負所でしっかり勝ち切るのが今後の課題です。

勝ちに行くと決めて獲った 6月蒲郡周年の意味は大きい

—— 蒲郡SGといえば、10年メモリアルでのデビュー戦が印象的です。

平本 あの時は本当にチャレンジャーでした。SGという舞台で自分がどこまで通用するのか、見極めることが大事だなと。今みたいにSGを深くとらえていなくて、勢いだけで突っ走った感じ。SG初優出という結果も、後からついてきた感じです。

その年は初出場のメモリアル以降のSGに全て出場することができたので、今後に繋がるSGになりました。

—— 14年のグランプリシリーズでSG初V！

平本 まさか優勝できるとは思っていませんでした。その時は、まだSG制覇を意識していませんでした。それにグランプリの制度が変わった年で（グランプリ出場枠が12名から18名に変更）、やりづらいシリーズだった印象があります。

全国24レース場の推薦を受けた スターレーサーたちが、 真夏の蒲郡で輝く！！

栗林幸太郎
●「スポーツニッポン」

主役はやっぱり峰竜太

優勝候補の筆頭はボート界の一番星・峰竜太（佐賀）だ。今年は若松オールスターを制して新たなタイトルをゲット。児島グラチャン、芦屋オーシャンCでも優出を果たして高次元のレベルで安定。ただ、蒲郡は未制覇の水面。大舞台で鬼門克服なるか。

ナイターSGV6の夜王・青島誠（群馬）の存在感も際立つ。夜の調整はお手の物。通算V3の当大会で迫力の走りを見せる。地元のエースは池田

浩二（愛知）。GI準優でのフライングで今年前半はGI・GII幹旋停止となったが、グラチャン、オーシャンCではいずれも準優に進出して3着。優出まであと一歩も、実力は健在。勝手知る水面で最高の輝きを放つ。

注目株はオーシャンCで14年ぶりにSGを制した濱野谷憲吾（東京）。復権した東都のエースが、6月周年で優出した舞台で牙をむく。グラチャンで7年半ぶりにSGを制した前本泰和（広島）の巧腕も必見。攻撃力屈指の白井英治（山口）、快速王子・湯川浩司（大阪）、グランプリ覇者の石野貴之（大阪）、スピードターン光る桐生順平（埼玉）の台頭も十分だ。

夏の蒲郡はイン1着率がさらに上昇

全国でも有数の広さを誇る蒲郡。インの強さは際立つが、センターからの捲りや捲り差しも決まり、決まり手は多彩。夏場はホーム横風や追い風が吹く影響で、インの1着率は格段に上がっている。内枠が強くなる傾向で、2コースの2着率も目立っている。

SG優勝を狙います!」

—— 2年後に尼崎オールスターで2度目のSG優勝。ジंकスを打ち破りました。

平本 「グランプリシリーズでSG初優勝すると、その後にSGを獲れない」ってやつですよな? その話は知っていましたが、同期の篠崎元志が先に破ってくれたので、じゃあ僕も絶対に打ち破れるなと。

そういえば、尼崎オールスターも「絶対に勝つ!」と意気込んでいたわけではなかったかな。あの時は委員会推薦での出場だったので、予選で1号艇がなかった。それでも優勝することができました。

—— 自然体のほうが結果がついてくる?

平本 リラックスしていたほうが良い結果がついてくると、ずっと思ってきましたし、これからもスタンスは変わらないと思います。

ただ、優勝した蒲郡周年はこれまでと違う形だった。ドリームにも乗せていただいたので、地元の看板を背負うつもりで臨みました。最初から「勝ちに行く」って決めていて、本当に優勝することができた。この優勝はかなり大きな出来事です。今までの自分にはなかった部分ですから。

—— いよいよ地元の大舞台です!

平本 メモリアルは施行者さんからの推薦なので、どのSGよりもプレッシャーを感じています。直前の蒲郡周年覇者として今大会に臨めるのは、自分にとって大きいです。

昨年のチャレンジCは優出することはできたけど、優勝はできなかった。「次こそ!」という気持ちは強く持っています。地元のSGタイトルは獲るべきだと思っているので、メモリアルで地元SG優勝を狙います!



注目レーサー the INTERVIEW

4337 平本 真之 (愛知)

ひらもと まさゆき

1984年5月5日生まれ。愛知支部・96期。
2005年5月、蒲郡でデビュー。08年4月、常滑・一般競走で初優勝。12年2月、芦屋・周年記念でGI初優勝。14年12月、平和島・GPシリーズでSG初優勝。16年5月、尼崎・オールスターで2度目のSG優勝を飾る。同期には若林将、新田雄史、篠崎元志らがいる。

◆通算成績

	出走回数	優出	優勝	2連率	3連率
全種別	3,829回	139回	33回	48.0%	65.0%
SG	543回	12回	2回	35.9%	49.5%
GI	1,064回	29回	4回	40.8%	59.9%

◆全国成績(最近2節)

21年 7月 芦屋 SG・オーシャン	④2①①⑤2②⑤
21年 7月 丸亀 GI・甲子園	⑥①⑥③③①⑥⑤⑤

◆蒲郡成績(最近2節)

21年 6月 GI・周年	③③①①②2①①
20年11月 SG・チャレンジC	②4①③①⑥②④

(2021年7月25日現在)

決まり手が多彩なだけあって、3コースの2着率や4コースの3着率も高い。3連単としては①②③、①③④、①④②、①②④の出現率が高い。

エース級の力秘める57に注目

モーター相場としては、初下ろしから毎回好仕上がりになっている69号機に注目。5月谷川里江が節イチ級の伸びを見せたように、ストレートの威力には定評がある。初下ろしから安定した成績を残しているのは62号機。5月岩瀬裕亮、続く大橋純一郎はいずれもトップ級の仕上がり。近況も水準以上の足に。74号機は6月66周年のVモーター。平本真之が俊敏なレース足に仕上げ、その後の池田浩美も軽快。ただ近況は気配一

息で、若干トーンダウンか。

近況の上昇度ピカイチは57号機。初下ろしの5月平見真彦で優出、続く仲口博崇は出足、伸び、回り足と3拍子揃った仕上がりで優勝と元々素性が良い。6月高田ひかるは節イチ級の伸びを誇り、7月高山秀雄はトップ級のレース足。気温が上がりさらにパワーアップし、エース級の力を秘める。

パワー保証! 要注目モーター

57 号機 2連率49.1% (3位)
出足◎ 伸び◎ 回り足◎

初下ろしから高いレベルで安定。特出すべきは6月高田ひかるで、展示タイムでは6秒49を計測するなど超抜級の伸びを誇った。その後の高山秀雄はトップ級の実戦足に。全体的に力強くエース級の力。

引いたら危険!? 要注意モーター

11 号機 2連率33.3% (28位)
出足△ 伸び○ 回り足○

6月周年では中島孝平、7月には都築正治、井口佳典とのタッグも、いずれも平凡な仕上がりに。一流の乗り手でもモーターに力強さがなく、特出すべきところもない。トップ級とは明らかに差がある。

モーター2連率ベスト10

(2021年5月・使用開始〜7月22日)

順位	モーター番号	2連率	勝率	順位	モーター番号	2連率	勝率
①	62	60.0%	6.63	⑥	16	45.9%	5.79
②	55	50.9%	6.22	⑦	36	45.3%	5.95
③	57	49.1%	6.18	⑧	34	45.1%	5.88
④	69	46.8%	6.02	⑨	24	44.2%	6.17
⑤	65	46.7%	5.97	⑩	26	44.0%	6.22

●蒲郡はチルト3度まで使用できます。

ドリーム戦出場予定選手

1号艇 **グランプリ優出者・唐津推薦** 5年連続10回目

峰 竜太 4320
みね りゅうた
A1 佐賀 36歳
全国 8.64 蒲郡 8.22

若松オールスター優勝後もSG優出を外さず賞金トップを独走中。

2号艇 **桐生推薦** 10年連続11回目

毒島 誠 4238
ぶすしま まこと
A1 群馬 37歳
全国 7.75 蒲郡 8.73

昨年の当地CCを制したナイター聖が、蒲郡SG連覇に照準絞る。

3号艇 **グランプリ優出者・津推薦** 2年連続10回目

新田 雄史 4344
にった ゆうし
A1 三重 36歳
全国 7.43 蒲郡 7.24

今年SGは4戦全て予選敗退と精彩欠くがペースをつかめば怖い。

出場選手 選出理由 出場回数

推薦レース場順
ドリーム戦出場
予定選手を除く

●病気などにより出場メンバーが変更になる場合があります。

登録番号
選手名
全国 最近6ヵ月(2021年2月1日～7月25日)の全国勝率
蒲郡 最近3年(2018年8月1日～2021年7月22日)の蒲郡勝率

級別・支部・年齢
(初回現在)

桐生推薦 2年連続2回目

4188 ひさだ としゆき
久田 敏之
全国 6.79 蒲郡 7.27
昨年の当地CCはモーターを仕上げてSG初優出を果たす大活躍。

戸田推薦 9年連続9回目

4444 きりゆう じゅんぺい
桐生 順平
全国 8.12 蒲郡 8.85
当地ではGI優勝あり、直近3回のSG優出もナイターと好材料。

平和島推薦 2年連続3回目

4688 ながい ひょうや
永井 彪也
全国 6.69 蒲郡 6.29
若松オールスターでは大外からGP覇者3人を差し切って17万舟。

多摩川推薦 6年連続8回目

4266 おさだ よむね
長田 頼宗
全国 6.96 蒲郡 6.96
今年前半は一般戦10優出5優勝と好調で、SGでも実力出せる状態。

多摩川推薦 4年連続14回目

4075 なかの じろう
中野 次郎
全国 7.53 蒲郡 7.17
CC開催地の多摩川から推薦を受けた。CC出場目指して賞金アップ。

浜名湖推薦 初出場

4524 ふかや とみひろ
深谷 知博
全国 6.69 蒲郡 6.76
最近SGでは予選敗退続くが、ダービー王の誇り胸に再浮上図る。

三国推薦 3年連続23回目

3388 いまがき こうたろう
今垣 光太郎
全国 7.02 蒲郡 7.00
当大会は現役最多7優出V3と好相性で当地もSGV2と好成績。

びわこ推薦 2年連続2回目

4686 まるの かずき
丸野 一樹
全国 6.64 蒲郡 7.71
GI V4は若手断トツの実績で、そろそろSGでの結果が欲しい。

びわこ推薦 4年連続6回目

4262 しば よしや
馬場 貴也
全国 8.00 蒲郡 7.00
捲り差しが代名詞で、今年は4ヵ月連続GI優出もあり好ベース。

住之江推薦 2年ぶり8回目

4168 いしの たかゆき
石野 貴之
全国 7.07 蒲郡 8.29
クラシック優勝後にGI2優出も7月びわこGI2準優1枠で転覆。

丸亀推薦 2年連続2回目

4450 ひらたか なな
平高 奈菜
全国 7.23 蒲郡 6.04
女子屈指の旋回力に体重差活かれば、SGファイナルも現実味。

丸亀推薦 5年ぶり5回目

4387 ひらやま ちか
平山 智加
全国 6.62 蒲郡 5.67
SG出場は20回超、ドリーム戦1枠もあるが予選突破は1回のみ。

児島推薦 2年ぶり7回目

4418 かやはら ゆうき
茅原 悠紀
全国 7.46 蒲郡 8.24
誰もが認めるターン技術を武器に、9年連続SG優出を目指す。

児島推薦 初出場

4482 もりや みほ
守屋 美穂
全国 7.33 蒲郡 6.90
芦屋オーシャンCで初めてのSG準優出を果たし自信をつけた。

下関推薦 初出場

4108 よしむら まさあき
吉村 正明
全国 6.78 蒲郡 ー
SG参戦は10回超えるが当大会は初出場。鋭いスタートで攻める。

グランプリ優出者・若松推薦 4年連続8回目

4371 にしやま たかひろ
西山 貴浩
全国 7.29 蒲郡 7.65
陸上のパフォーマンスも走りに超一流。あとはSGを獲るだけだ。

若松推薦 3年連続11回目

4350 しのぎ もとし
篠崎 元志
全国 7.24 蒲郡 7.50
当地勝率7.97は現役1位。15年当地大会を峰との激闘の末に制す。

芦屋推薦 3年連続21回目

3783 うりゅう まさよし
瓜生 正義
全国 7.42 蒲郡 7.06
当大会は11、12年と連覇。SG10冠のうち6冠を夏から秋に制す。

大村推薦 3年連続16回目

3779 はらだ ゆきや
原田 幸哉
全国 7.26 蒲郡 8.16
GP開催決まった大村の推薦受け、元地元で4度目のSGV狙う。

大村推薦 3年連続3回目

4497 くわはら ゆう
桑原 悠
全国 7.13 蒲郡 5.95
スタートのキレあり、伸びに特化したカド戦は一発の魅力十分。

開催施行者希望 4年連続6回目

4074 やなぎざわ はじめ
柳沢 一
全国 7.09 蒲郡 7.12
今年は上半期だけで自己最多のGI4優出と、好調ぶりは明らか。

開催施行者希望 2年連続3回目

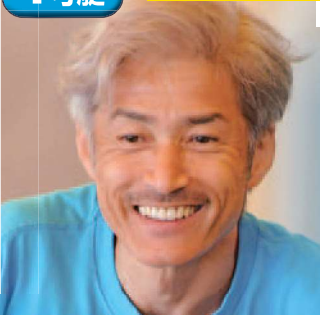
4586 いそべ まこと
磯部 誠
全国 7.44 蒲郡 7.90
GI3連続優出中と好走続ける地元で、SG優出の壁を破りたい。

予備選手 ①3557 太田 和美(大阪) ②3946 赤岩 善生(愛知) ③3622 山崎 智也(群馬) ④4061 萩原 秀人(福岡)

4号艇

グランプリ優出者・住之江推薦

16年連続28回目



松井 3415
繁 3415
まつい しげあき
A1 大阪 51歳

F直後の児島グラチャン優出と年末へ価値ある賞金上積み成功。

全国 7.07 蒲郡 7.48

5号艇

徳山推薦

2年連続14回目



白井 3897
英治 3897
しろい えいじ
A1 山口 44歳

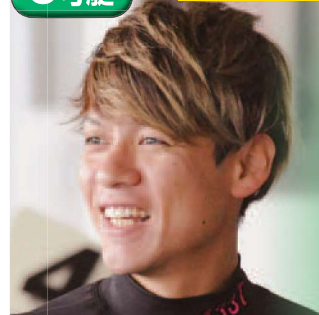
昨大会は師匠・今村豊との最後のSG。山口の看板背負いVへ。

全国 8.27 蒲郡 7.33

6号艇

グランプリ優出者・常滑推薦

12年連続12回目



平本 4337
真之 4337
ひらばら まこと
A1 愛知 37歳

6月蒲郡周年は優勝戦含め0台スタート6連発で6年ぶりGI V。

全国 7.24 蒲郡 7.02

戸田推薦

初出場



4573 さとう つばさ
佐藤 翼
全国 7.35 蒲郡 6.71

昨秋ダービー、今年はオールスターで優出と大舞台に慣れてきた。

A1・埼玉・32歳

江戸川推薦

11年連続14回目



3716 いしわた てっぺい
石渡 鉄兵
全国 7.05 蒲郡 7.55

唯一無二の江戸川巧者。前期の4コース1着率は驚異の40%超だ。

A1・東京・46歳

江戸川推薦

3年ぶり2回目



4468 おおいけ ゆうき
大池 佑来
全国 6.98 蒲郡 6.18

SGは18年丸亀大会以来2回目。前回は道中逆転で2勝と見せ場。

A1・東京・34歳

オーシャンC優勝者・平和島推薦

25年連続25回目



3590 はまのや けんこ
濱野谷 憲吾
全国 7.90 蒲郡 7.31

「今年は良い流れ」とオーシャンCで14年ぶりのSG優勝勝った。

A1・東京・47歳

浜名湖推薦

2年連続5回目



3744 とくまつ ひでき
徳増 秀樹
全国 7.05 蒲郡 6.19

今年のSGは3連続予選突破と安定。インとカドは魅力たっぷり。

A1・静岡・46歳

常滑推薦

2年ぶり19回目



3941 いけだ こうじ
池田 浩二
全国 8.48 蒲郡 8.47

前期F2も5月復帰戦Vにグラチャン準優出と勝負動に不安なし。

A1・愛知・43歳

津推薦

初出場



4808 まつお ひろむ
松尾 拓
全国 6.58 蒲郡 7.07

昨年のイン1着率92.7%のイン巧者。GIを制し着実に階段上る。

A1・三重・32歳

三国推薦

3年ぶり14回目



4013 なかじま こうへい
中島 孝平
全国 7.59 蒲郡 6.12

今年は8年ぶりGI制覇と勢い取り戻し、SG戦線で再び躍進へ。

A1・福井・41歳

尼崎推薦

9年連続15回目



3854 よしかわ もとひろ
吉川 元浩
全国 6.64 蒲郡 6.83

B甲子園でまさかの2節連続Fと、4年連続GP出場へ黄信号。

A1・兵庫・48歳

尼崎推薦

初出場



4290 いなだ こうじ
稲田 浩二
全国 7.53 蒲郡 7.65

昨秋のCCはSG初優出も、予選トップ通過で準優は悔しい2着。

A1・兵庫・36歳

鳴門推薦

3年連続18回目



4028 たむら たかのぶ
田村 隆信
全国 7.22 蒲郡 7.57

蒲郡は1年2ヵ月目に初V、2年10ヵ月目にSG初優出と縁あり。

A1・徳島・43歳

鳴門推薦

7年ぶり2回目



4052 おきつ あい
興津 藍
全国 7.15 蒲郡 7.41

児島グラチャンもクラシックとオールスターで準優出と存在感。

A1・徳島・40歳

宮島推薦

4年連続5回目



3573 まえもと やすかず
前本 泰和
全国 8.27 蒲郡 7.41

児島グラチャンでは初日1レースの捲り1着から流れに乗り優勝。

A1・広島・49歳

宮島推薦

初出場



4682 おおうえ たくと
大上 卓人
全国 7.55 蒲郡 ー

昨秋GII Vに福岡クラシック準優3着と、大舞台でアピール中だ。

A1・広島・30歳

徳山推薦

2年連続3回目



4064 はらだ あつし
原田 篤志
全国 6.83 蒲郡 7.18

徳山地区選で3年ぶりのGI優出。モーター噴かして上位陣に迫る。

A1・山口・41歳

下関推薦

2年連続9回目



3961 たにむら かずや
谷村 一哉
全国 6.62 蒲郡 5.75

14年若松大会は敗れたが優勝戦1枠を獲得。機力優位なら一発も。

A1・山口・42歳

芦屋推薦

4年連続4回目



4831 はの なおや
羽野 直也
全国 6.87 蒲郡 5.84

若きGI覇者もSGでは予選落ちが多く、機力の後押しが必要か。

A1・福岡・26歳

福岡推薦

6年連続7回目



4477 しんのざき ひとし
篠崎 仁志
全国 7.18 蒲郡 8.63

当地SGは3戦して優出1回だが、すべて準優2枠と予選は堅実。

A1・福岡・33歳

福岡推薦

2年連続11回目



4296 おかざき やすひろ
岡崎 恭裕
全国 6.81 蒲郡 8.96

トップスタート連発して準V飾った昨年のCC以上の結果求める。

A1・福岡・34歳

唐津推薦

2年連続2回目



4503 うえの しんのすけ
上野 真之介
全国 7.91 蒲郡 7.56

蒲郡CCは初日6コースから10万舟、2日目5コースから5万舟。

A1・佐賀・33歳

開催施行者希望

6年連続16回目



3960 きくち こうへい
菊地 孝平
全国 7.11 蒲郡 7.65

スタート勘掴み、スリット付近の行き足仕上がれば期待に応える。

A1・静岡・43歳

開催施行者希望

2年連続12回目



4044 ゆかわ こうじ
湯川 浩司
全国 7.44 蒲郡 7.49

快速戦も魅力だが、今年のSGではバランス良く仕上げて2優出。

A1・大阪・41歳

開催施行者希望

2年ぶり18回目



3721 もりた しゅんすけ
守田 俊介
全国 7.03 蒲郡 8.32

当地は18年ダービーV水面。マイペースを貫き3度目のSG狙う。

A1・滋賀・46歳

開催施行者希望

4年ぶり3回目



4604 いわせ ゆうすけ
岩瀬 裕亮
全国 7.52 蒲郡 6.99

F休み前だがスタート勝負タイプでなく、捲り差して高配当に期待。

A1・愛知・38歳

激闘！歓喜！悔し涙も…。

蒲郡のボートレースメモリアル 桧村 賢一 ● ボートレースライター

蒲郡でメモリアルが開催されるのは今回で8回目になる。初ナイターSGや、篠崎元志と峰竜太の激闘と涙など、思い出に残るレースばかり。中でも凄まじかったのが第28回大会、彦坂郁雄と野中和夫の戦いだ。8回目の蒲郡メモリアルでは、どんなドラマが生まれるだろうか。

走れば勝つ、売上も上がる 絶頂期を迎え快走続ける 安心と信頼の「艇王」彦坂

どうしても記憶から消えないレースがある。それが1982年の第28回大会である。

当時、東京支部に彦坂郁雄という選手がいた。特別戦24場制覇、期勝率1位になること20回、37連勝、生涯優勝179回、特別戦77優勝の記録は破られていない。整備違反で引退したが、「艇王」と呼ぶにふさわしい強さを誇っていた。

彦坂のレースを追いつけて全国を回るお客さんもいた。彦坂が走れば売上が上がるので、「彦坂を1日3回走りにしたらどうだ」という声もあったくらいだ。

F3&八項で300日の休み前 大ケガ直後のSGで優出 それが「モンスター」野中

不動の強さを誇る彦坂に敢然と挑む選手が、大阪に現れた。中学校の同窓生だった横山やすしさんが視力でボートの選手になることができ

ず、その想いを引き継ぐ形で、24歳でボートの選手になった野中和夫である。メキシコに空手の指導者として派遣される予定だった。

「俺は漫才の世界で日本一になってみせる。お前はボートの世界で日本一になってくれ」。

やすしさんとの約束を守るため、野中は勝つためにあらゆる挑戦をした。野中の記録は期勝率9.53と、年間優勝16回うち特別優勝12回。昨年、峰竜太が年間V16に挑戦したが、並ぶことはできなかった。こちらも「モンスター」と呼ぶにふさわしい記録を持っている。

絶頂期を迎えていた東の彦坂に対して、西の野中は1年間のブランクの後に訪れた復帰後初のSG、委員会推薦での出場が第28回メモリアルだった。

艇王とモンスターの対決と言っても、それだけなら特に注目を浴びることはないだろうが、野中はフライング3本、反則失格(妨害失格)で事故点は75点、蒲郡のメモリアルが終わると「八項」とフライング休みで300日の長期欠場も控えていた。加えて、直前の浜名湖周年で顔を8針縫うケガを負い、右眉を剃り落としていた。その姿は鬼気迫るものがあった。

優勝戦で実現!! シリーズ最初で最後の 艇王vsモンスター対決

シリーズに入ってから彦坂は、いつものように超快速で1着を並べて予選を得点率1位で



通過、野中も2位で予選を通過、ともに準優1着で優出した。

優勝戦の枠番抽選で彦坂が引いたのは、インから最も遠い1号艇。野中は4号艇を引いた。今は準優の着順と予選得点率で優勝戦の枠番が決まるが、当時は優出6名による抽選制。また、ピットの1〜6号艇の並びが逆で、6号艇がイン取りに有利な枠番だった。

準優の後に行われたテレビ向けの優勝戦イン

二段捲り炸裂！新良がSG初V

第42回大会 (1996年) 優勝者 2930 新良 一規

6号艇に地元の鈴木がいた。4号艇に西島、2号艇に安岐とくれば、スロー域のコース取りが乱れると思われた。カドを取った者の優勝かと思われたが、本番は鈴木がピット離れであっさりインを取り切った。1マークで先に安岐が捲りに出る。だが、新良の駆け引きが一枚上だった。伸びてくる植木を止め、安岐の上に二段捲りを仕掛けた。これが見事にはまった。深夜に地元に戻った新良をファンが待っていた。



優勝戦結果

着順	枠番	選手名	支部	進入	ST
①	③	新良 一規 (山口)	④	20	
②	⑤	瀬尾 達也 (徳島)	⑥	12	
③	①	植木 通彦 (福岡)	⑤	10	
④	②	安岐 真人 (香川)	③	18	
⑤	④	西島 義則 (広島)	②	49	
⑥	⑥	鈴木 幸夫 (愛知)	①	28	

▶2連単 ③-⑤ 4,220円
▶決まり手=つけまい

今垣、初のナイターSGを制す

第48回大会 (2002年) 優勝者 3388 今垣光太郎

初のナイターSGということで注目を集めた大会だった。スタート展示は12346/5で、5号艇の田村だけがダッシュの判定になった。

モーターが完調に近い濱野谷のイン逃げかと思われたが、なんと本番で今垣がインを取った。濱野谷が伸びたが、今垣の1マークが巧かった。濱野谷を寄せ付けないターンで一気に先行態勢を築き、初のナイターSG覇者に輝いた。



優勝戦結果

着順	枠番	選手名	支部	進入	ST
①	②	今垣光太郎 (福井)	①	10	
②	①	濱野谷 憲吾 (東京)	④	13	
③	④	新美 恵一 (愛知)	②	11	
④	⑥	岡本 慎治 (山口)	③	15	
⑤	③	田村 隆信 (徳島)	⑥	16	
⑥	⑤	西田 靖 (東京)	⑤	14	

▶2連単 ②-① 510円
▶3連単 ②-①-④ 1,270円
▶決まり手=逃げ

「ナイターの帝王」今垣が連覇

第50回大会 (2004年) 優勝者 3388 今垣光太郎

この年からスタート展示が始まった。スローとダッシュがスタート展示で判定され、本番はその通りのスタートをしなければならない。スタート展示では大外になった今垣が本番ではスローの5コースに入った。スタートは単騎ガマシの原田がコンマ04と仕掛けた。絞って行くが今垣が抵抗して先捲り、原田は差しに切り替える。インの鳥飼とバックで3者併走。2マークで鳥飼と原田が競ったところを今垣が差した。



優勝戦結果

着順	枠番	選手名	支部	進入	ST
①	③	今垣光太郎 (福井)	⑤	16	
②	⑥	原田 幸哉 (愛知)	⑥	04	
③	②	辻 栄蔵 (広島)	②	31	
④	①	鳥飼 眞 (福岡)	①	27	
⑤	④	吉川 元浩 (兵庫)	③	30	
⑥	⑤	田頭 実 (福岡)	④	23	

▶2連単 ③-⑥ 1,760円
▶3連単 ③-⑥-② 6,480円
▶決まり手=抜き

SGボートレース メモリアル 歴代優勝者

回	開催場	優勝者
第1回	大村	真島 勝義 豊島 勝 (ランナ)
第2回	津	鈴木 成彦
第3回	びわこ	貴田 宏一
第4回	芦屋	前田 道積 山岡 貴太 (ランナ)
第5回	若松	上原 茂

回	開催場	優勝者
第5回	若松	松本 稔 (ランナ)
第6回	平和島	井上一二郎
第7回	宮島	松尾 泰宏
第8回	住之江	芹田 信吉
第9回	下関	金藤一二三 倉田 栄一 (ランナ)
第10回	芦屋	倉田 栄一

回	開催場	優勝者
第11回	若松	芹田 信吉
第12回	福岡	金子 安雄
第13回	常滑	竹内 淳磨
第15回	丸亀	岡本 義則
第16回	下関	山田 豊志
第17回	桐生	瀬戸 康孝
第18回	福岡	彦坂 郁雄
第19回	下関	瀬戸 康孝
第20回	丸亀	野中 和夫

回	開催場	優勝者
第21回	下関	北原 友次
第22回	桐生	渡辺 義則
第23回	浜名湖	加藤 峻二
第24回	唐津	村上 一行
第25回	丸亀	野中 和夫
第26回	常滑	栗原孝一郎
第27回	平和島	高峰 孝三
第28回	蒲郡	彦坂 郁雄
第29回	戸田	望月 重信

回	開催場	優勝者
第30回	若松	北原 友次
第31回	下関	野中 和夫
第32回	芦屋	倉重 宏明
第33回	丸亀	国光 秀雄
第34回	浜名湖	松野 寛
第35回	福岡	松田 雅文
第36回	丸亀	平尾 修二
第37回	下関	西田 靖
第38回	浜名湖	今村 豊

1号艇 彦坂 郁雄

「出足と回り足がいい。1号艇だからコースは流動的だね。一応4、5コースからの全速捲りかな」

2号艇 高辻 幸信

「準優は2マークでツイていましたエンジンはもう言うことなし。負けて元々で行きます」

3号艇 浅香 登

「優出したけど複雑な気持ちです。一から整備をやり直します。出たからには優勝を狙います」

4号艇 野中 和夫

「超抜とゴッソンの足や。スタートはもう気にせんで行く。インやったら優勝できると思う」

5号艇 紫垣 順一

「ええ方です。1本(F)持っているので気になってスタートが安定しないけど、気楽に行きます」

6号艇 平尾 修二

「シャフト調整で出足が良くなったけど、優勝戦に入ると落ちる。インからスタート勝負する」

(月刊競艇ダービーより)

締める彦坂、弾き出す野中 優勝戦は手に汗握る大混戦 激闘の結末は…

優勝戦は壮絶な戦いになった。4号艇の野中がビット離れて飛び出し、インを奪取する。1号艇の彦坂は一旦3コースにまで入っていたが、45秒前にエンストして回り直し。5コースに引いた。

スタートは彦坂が早かった。スリットの段階で1艇身前にいた。そこから迷わず絞って行く。1艇、また1艇と潰す。ところが、野中が黙っていなかった。猛然と1マークで彦坂に反発した。2人して大きく流れる。

隙を突いたのが浅香だった。2マークは浅香が先取り、大きく流れた位置から野中が追い上げる。彦坂は先行する浅香から10艇身は離れていただろうか。

2マークは野中が巧かった。先行する浅香の内懷に差しで飛び込む。2周目ホームでは絞る浅香に野中が反発し、競り合いは2周1マークまで続く。

2周1マーク、また先行する2人がターンマークを行きすぎた。外に艇を持ち出していた彦坂は、この機を逃がさなかった。ブイ際を差すと、そのまま2周目バックへ抜け出し、野中はここで力尽きた。



東西2強、戦いを終えて…

ビットに引き揚げてきた野中は、迎えにきた中道善博を見つけると「やっぱ、スタートを行き切れなかったわ」と一言。これから300日の休みが控えていることを聞くと、「ハワイの連れのとこへ行って、ゴルフでもしながらゆっくりするわ」とだけ答えて戻って行った。

その傍で、優勝した彦坂が優勝カップを高々と掲げ、マスコミの撮影に応じていた。

優勝戦結果									
着順	枠番	選手名	現住所	進入	ST	節間成績			
①	①	彦坂 郁雄 (千葉)	5	12	2	①①①②①①	①		
②	③	浅香 登 (三重)	2	28	2	①①③③①④③	②		
③	④	野中 和夫 (大阪)	1	26	1	①①③③①①③	③		
④	⑤	紫垣 順一 (大阪)	3	25	2	②⑥②②③④②	④		
⑤	⑥	平尾 修二 (香川)	4	21	2	②⑥③⑤①②⑤	⑤		
⑥	②	高辻 幸信 (愛知)	6	33	1	①①①②⑤①⑥	⑥		

▶2連単 ①-③ 2,950円

▶決まり手=2周1M差し

差し一閃! 魚谷がSG連覇達成

第53回大会 (2007年) 優勝者 3780 魚谷 智之

地元から赤岩と池田が乗っていたが、1コースに遠い枠番だ。本番は赤岩がスローの4コース、池田はカドの5コースを選択。スタートで池田が先手を取ったが、赤岩が伸び返す。1マーク、この2人をけん制するようにインの山本が先マイも流れ、そこを2コースから魚谷が差した。オーシャンCに続いてSG連続優勝を飾った。レース直前に競輪の小嶋敬二からの「挑戦しろ」のアドバイスが大きかったと言う。



優勝戦結果

着順	枠番	選手名	支部	進入	ST
①	②	魚谷 智之 (兵庫)	2	17	
②	①	山本 浩次 (岡山)	1	26	
③	④	池田 浩二 (愛知)	5	09	
④	⑥	赤岩 善生 (愛知)	4	14	
⑤	③	市川 哲也 (広島)	3	14	
⑥	⑤	笠原 亮 (静岡)	6	19	

▶2連単 ②-① 810円

▶3連単 ②-①-④ 2,380円

▶決まり手=差し

レジェンド今村、最後のSGV

第56回大会 (2010年) 優勝者 2992 今村 豊

2000番台は今村ただ1人。モーターも27%と数字がなかったが、立て直してきた。優勝戦1枠を手にした時「ここまでは100満点」と、SG優勝を確信させるコメントをしていた。本番は枠なり進入。誤算だったのは2コースの濱野谷だ。前節のケガの影響かコンマ25と立ち遅れた。3コースから中島が覗いてくる。だが、今村が伸び返すのを見て、差しに構えた。今村は全速で攻める仲口を制し、中島の差しも許さなかった。



優勝戦結果

着順	枠番	選手名	支部	進入	ST
①	①	今村 豊 (山口)	1	17	
②	④	仲口 博崇 (愛知)	4	16	
③	⑤	今垣光太郎 (福井)	5	16	
④	⑥	平本 真之 (愛知)	6	14	
⑤	③	中島 孝平 (福井)	3	14	
⑥	②	濱野谷 憲吾 (東京)	2	25	

▶2連単 ①-④ 750円

▶3連単 ①-④-⑤ 2,490円

▶決まり手=逃げ

峰、篠崎元に逆転を許し号泣…

第61回大会 (2015年) 優勝者 4350 篠崎 元志

「GPシリーズで優勝した選手は、他のSGで優勝できない」というジンクスがあった。篠崎は12年GPシリーズで優勝してから5度もSGの優勝戦に乗っていたが、2度目の優勝は果たせないままだった。一方、峰も11年からSG優勝戦に8回乗るものの優勝はなかった。2人の戦いとなった優勝戦は、1マークで篠崎が抜け出し、2マークで峰が逆転。2周1マークで峰がターンミスした所を篠崎が見逃さなかった。



優勝戦結果

着順	枠番	選手名	支部	進入	ST
①	②	篠崎 元志 (福岡)	2	06	
②	①	峰 竜太 (佐賀)	1	05	
③	⑤	中島 孝平 (福井)	5	08	
④	④	下條 雄太郎 (長崎)	4	08	
⑤	⑥	坪井 康晴 (静岡)	6	07	
失	③	市橋 卓士 (徳島)	3	11	

▶2連単 ②-① 1,080円

▶3連単 ②-①-⑤ 3,620円

▶決まり手=抜き

回	開催場	優勝者
第39回	福岡	原田 順一
第40回	児島	関 忠志
第41回	三国	中道 善博
第42回	蒲郡	新良 一規
第43回	若松	安岐 真人
第44回	多摩川	長岡 茂一
第45回	児島	山本 浩次
第46回	若松	西島 義則
第47回	多摩川	市川 哲也

回	開催場	優勝者
第48回	蒲郡	今垣光太郎
第49回	唐津	田中信一郎
第50回	蒲郡	今垣光太郎
第51回	若松	菊地 孝平
第52回	桐生	中村 有裕
第53回	蒲郡	魚谷 智之
第54回	若松	今垣光太郎
第55回	丸亀	池田 浩二
第56回	蒲郡	今村 豊

回	開催場	優勝者
第57回	福岡	瓜生 正義
第58回	桐生	瓜生 正義
第59回	丸亀	毒島 誠
第60回	若松	白井 英治
第61回	蒲郡	篠崎 元志
第62回	桐生	菊地 孝平
第63回	若松	寺田 祥
第64回	丸亀	毒島 誠
第65回	大村	毒島 誠

回	開催場	優勝者
第66回	下関	寺田 祥

第67回 蒲郡
(福勝戦)
2021年8月29日 第12レース



選手賞金		(単位: 千円)					
種別	着順	1着	2着	3着	4着	5着	6着
優勝戦		39,000	16,500	10,500	8,000	7,000	6,500
特別選抜A戦		3,500	2,500	2,000	1,650	1,400	1,200
特別選抜B戦		2,300	1,700	1,150	950	800	700
トトまる選抜戦		570	430	325	260	230	205
準優勝戦		570	430	325	260	230	205
ドリーム戦		570	430	325	260	230	205
予選・一般戦		210	170	130	110	100	90

●優勝戦1着賞金には、日本財団会長賞の副賞金500万円、同2着賞金には150万円、同3着賞金には50万円のBOAT RACE振興会会長賞の副賞金を含む。